

2023年1月31日

各位

会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン  
 代表者 代表取締役社長 石坂 信也  
 (コード番号 3319 東証プライム)  
 問合せ先 執行役員最高財務責任者 中村 怜  
 (TEL. 03-5656-2888)

## 営業外費用の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2023年1月31日開催の取締役会において、2022年9月22日に公表しておりました2022年12月期通期連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）につきまして下記の通り修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の内容

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年9月22日発表）	百万円 46,500	百万円 1,590	百万円 1,090	百万円 1,280	円 銭 68.28
今回修正予想（B）	46,090	1,189	△175	339	18.61
増減額（B－A）	△409	△400	△1,265	△940	-
増減率（%）	△0.9	△25.2	-	△73.5	-
（参考）前年実績 2021年12月期	39,594	1,706	1,715	1,035	56.68

#### 2. 修正の理由

第4四半期連結会計期間において、主に海外セグメントにおいて米国における物価上昇の影響を受けた人件費、その他販管費の高騰、当連結会計年度末よりASC842号「リース」を適用したこと及びSkyTrak事業における取得価額の配分が完了したこと等による影響から営業利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「3. 営業外費用の計上」に記載の通り急激な為替相場の変動により為替差損を計上することとなり、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

#### 3. 営業外費用（為替差損）の計上

当社の米国における100.0%子会社であるGDO Sports, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下、「GDOS」といいます。）が、GolfTEC Enterprises, LLCの出資持分を増加させる（詳細は2022年9月22日付「連結子会社における出資持分の追加取得、第三者割当によるA種優先株式の発行、定款の一部変更並びに資本金及び資本準備金の額の減少」参照）際に、急激な為替相場の変動を受けたさらなる円安の進行リスクを回避するために、当社において2022年10月時点で一定の為替予約を締結することにより、円貨による支払金額及び純資産の減少影響を固定化致しました。その後、2022年11月末の出資持分増加時点で結果的に為替予約締結時よりも円高方向に為替相場が推移したことを主たる要因として、連結損益計算書において為替差損

5.6億円を計上致しました。一方で、追加出資時点での資本剰余金及び利益剰余金の減少を通じた純資産の減少幅は円高方向に為替相場が推移したことにより縮小し、全体としての純資産の減少は2022年10月で固定化した減少影響の通りとなりました。

また、2022年8月に実行したSkyTrak事業の譲受（詳細は2022年8月10日付「連結子会社における事業譲受および資金の借入れに関するお知らせ」参照）に際して、当社はGDOSに対して外貨建長期貸付を実行していましたが、当該外貨建貸付金の期末換算において、期末為替レートによる評価に伴い為替差損2.5億円を計上する見通しであります。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上